

ご守護あつて柔道阿部兄妹選手 五輪金メダル獲得

三石神社 宮司 小林友博

発行所
三石神社社務所
神戸市兵庫区
和田宮通3丁目2-51
Tel (078)671-2531
FAX (078)671-7667
E-mail info@mitsuishi.or.jp
URL http://mitsuishi.or.jp

- ご家庭・会社事務所に神棚を祀りましょう。
- お伊勢さんのお神札（神宮大麻）と三石さんのお神札を合せ奉斎しましょう。
- お神札は、毎年末もしくは新年に新しく改めてお祀りしましょう。

師走の候、氏子崇敬者の皆様におかれましては、ご健勝にてご活躍のこととご同慶に存じます。又、年頭の正月より一年間各種神事行事に対しましてご崇敬ご奉獻を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症対策の一環であるワクチン接種も始まった七月二十三日、新型コロナウイルス感染のため一年延長されていた、五十七年ぶりの東京二〇二〇オリンピックが開幕した。

先だつ十六日から、「スポーツニッポン新聞社」、「日刊スポーツ新聞」、週刊誌「女性自身」、「デイリースポーツ新聞」記者らが本年元旦に奉納した柔道阿部一二三・詩兄妹選手の祈願絵馬写真撮影、また参拝時の様子などの取材のため来社した。

柔道阿部兄妹選手の試合当日の二十五日の「デイリースポーツ新聞」には、「今日登場 柔道・阿部きょうだいVを地元待望」見出しで、「地元・和田岬も快挙の瞬間を待ち望んでいる。二人は帰省した今年一月、三石神社で必勝祈願を行った。幼少期から同社のお祭りに参加し、神輿も担いだ思い出の場所。」



今年、一二三選手は絵馬に「最高に輝く」、詩選手は「東京五輪優勝 自分に勝つ!」と記した。宮司の小林さんがエールを送る。「来年、金メダルを首に掛けてお参りに来ますねと言われていました。ぜひ、二人とも優勝してほしいです」と記され、前人未到の兄妹Vを地元も待望しているとの記事が掲載された。午後からは「フジテレビ」の「めざまし8」番組担当の「共同テレビジョン技術センター映像制作部、「読売テレビ」の「す・またん!ZIP!」放送情報スポーツ局ディレクターをはじめ、「スポーツ報知新聞」記者なども取材来社した。後、報道人も神社会館のテレビ前で阿部兄妹の試合を観戦した。

内心三石大神のご守護により阿部兄妹が金メダルに輝くようにと祈りつつテレビ観戦し、先ず女子五十二キ級の詩選手（日体大）が八分を超える決勝戦で一本勝ちで勝利した時、テレビ前でありながら神主・報道人互いにハイタッチして歓喜し、次の兄の試合も期待した。

男子六十六キ級の兄一二三選手（パーク24）も決勝で優勢勝ちし、史上初の五輪での兄妹同日金メダル獲得の快挙となり、これまたハイタッチして一二三選手の優勝を祝福した。



朝から阿部兄妹が五輪金メダルを獲得したことで、氏子崇敬者や知人等各地から「TVを見た。良かったね。おめでとう」の祝福電話も頂き、また阿部兄と掲載された。

報道人からは「三石さんのご守護やね。おめでとう。これからはお参りも増えますよ」との声を戴き、また「奉納絵馬」盗難の恐れもあるので社務所に移した方がよいのではないかとのご教示もあって、早速社務所に移し額に入れて飾った。

二十六日の「デイリースポーツ」、「スポーツ報知」、「サンケイスポーツ」、「日刊スポーツ」の各新聞に当社関係の写真、記事も掲載された。

「スポーツ報知」には、今年元日に初詣での絵馬写真を手にした阿部兄妹とその絵馬写真が載り、「毎年参拝三石神社(金)下げて初詣に」のタイトルで、「阿部兄妹の二人が毎年参拝に訪れている神戸市兵庫区の三石神社では、禰宜の小林さんがテレビ観戦。「本当におめでとうございませす！ホッとしました。神様も喜んでくれるはず」と安どの表情を見せた。同神社はサツカーJ1・神戸の本拠地ノエビアスタジアム神戸のすぐ近く。勝運にもご利益があり、阿部家は今年も家族五人で元日に初詣。小林禰宜は「お兄ちゃんも詩ちゃんも、とてもフランクで、来られる時はプライベートなおでりラックスしていますが、目力はスゴイ。オーラがあります」とのこと。

二人の絵馬は二〇一七年分から保管している。昨年は「勝負に輝く(一一三三)」「優勝(詩)」だったが、五輪開催が延期されたことで、今年は「最高に輝く(一一三三)」、「東京五輪優勝 自分に勝つ！」(詩)と、より強い思いが込められた。小林さんは「地元への誇り。来年はぜひ金メダルをぶら下げて、初詣に来ていただけたら」とマスク越しに笑顔をのぞかせた」と記され、また「日刊スポーツ」には、阿部三兄弟が三石神社の祭りハッピを着た写真と、「地元「氏神様」歓喜」のタイトルで、「柔道で史上初、きょうだい同日金メダルを成し遂げた阿部一二三と詩に地元「氏神様」も喜んだ。神戸市の三石神社の禰宜小林さんは「金メダルを持って来年、年明けにお参りにきていただける。その夢が現実になりそうです」と語る。同神社に阿部家は昔からゆかりがあり、きょうだいは今年の年明けも初詣に訪れて絵馬を掛けた。「勝ち神様」として今後、話題になりそうです」と掲載された。



妹も身に付けている「勝御守」を求め次々と参詣者があり、さらに北海道、鹿児島など他府県からメールなどでお守り送付依頼もあるなどTV全国報道の威力に驚いた。

三十日、「祝 東京五輪柔道 男子六六キログ級 阿部一二三選手 女子五二キログ級 阿部詩選手 金メダル おめでとうございませす」の横断幕各一枚を鳥居横左右の玉垣に掲示し、当社の祝福とした。

事後取材として「毎日TV放送」、「読売TV放送」記者や、週刊誌「週刊セブン」、「週刊現代」さらに八月二十四日には、「読売新聞」神戸総局記者も取材に訪れ、九月六日の朝刊地域神戸明石版に、額に入れて飾った阿部兄妹祈願絵馬写真が載せられ、「金の聖地ファンら瞳輝く」のタイトルで、神戸市で阿部兄妹ゆかりの場所が「聖地」としてファンや住民らの注目を集めている。大会前に二人が必勝祈願に訪れた同市兵庫区和田宮通の「三石神社」では、活躍にあやかろうと参拝者が増えたと前置きして、「最高に輝く」、「東京五輪優勝 自分に勝つ！」ときょうだいが大会前の今年一月、初詣に訪れて三石神社に奉納した絵馬には、力強い願いが込められたためだった。二人の絵馬は、防犯上の観点から境内に飾られず、社務所で保管。参拝者が希望すれば、見せてもらえる。二人は毎年、実家近くの同神社へ家族で初詣に訪れるという。禰宜の小林さんが二人の参拝に気づいたのは二〇一七年一月。国内外で活躍していた姿に見覚えがあり、それ以来、二人が奉納した絵馬は大切に保管している。きょうだいが金メダルを獲得した翌日には、活躍にあやかろうと、スポーツをしている子供がいる保護者らが相次いで神社を訪れ、正月並みのにぎわいをみせたという。小林さんは「地元への誇り。金メダルは、二人の努力が神様に届いた結果だと思ふ。来年の初詣に来てくれたら、おめでとうと伝えたい」と喜んだ」と掲載された。

三年後のパリ五輪でも阿部兄妹選手が柔道で金メダルを獲得することを願ってやまない。(令和三年十月 記)



令和二年十一月

七五三詣祈禱齋行

十一月中、七五三詣祈禱を齋行した。

少子化と貸衣装予約の関係か、例年ならば早々と九月・十月に参拝されるご家族もあったが、本年は新型コロナウイルス感染症拡大の関係もあつて参拝者もやや少なめであつた。

当社では七五三に当たる子供さんの玉串奉奠や、拝殿内での記念写真撮影も行い、千歳飴やおモチャ・風船・おみやげセット等の他にキャラクターターバック等の記念品もお渡しし



特設スタジオでの記念写真

て大変喜ばれました。

土・日・祝日に限らず期間中には会館二階に特設写真スタジオを設け、記念写真を撮っていただけるよう設備しています。また、お宮参り・成人式・長寿祝(還暦・古希など) 記念写真にもご利用下さい。但し、必ず予約をお入れ下さい。

令和三年一月

柔道選手・阿部兄妹 今年も必勝祈願参拝



大絵馬の前で 祈願絵馬を持つ阿倍兄妹

初詣で賑わう元旦(午後三時半頃)、御祭神・神功皇后の勝運神徳

の御守護を賜り、本年開催される東京オリンピックの柔道女子五十二キロ級の金メダル候補として注目される阿部詩選手、兄で六十六キロ級の一二三選手が今年も必勝祈願参拝し

た。

代表内定が遅れていた兄の一二三選手は、昨年十二月十三日の丸山選手との代表内定選手決定戦で勝利し、当社も早速毎日TV放送「ちちんぷいぷい」の取材を受け、「五輪決めた阿部一二三 盛り上がる地元神戸和田岬」(十八日)で当社も放映された。

参拝祈願絵馬に、「一二三選手は「最高に輝く」、詩選手は「東京五輪優勝 自分に勝つ!」とそれぞれ願つて絵馬掛に吊るした。尚、新型コロナウイルス感染症で東京オリンピックが一年延期された関係か、報道陣はなかった。

神社として、兄妹共々に代表選手となつた東京オリンピックで優勝(金メダル)する事を願つてやまない。

年頭氏子崇敬者繁栄祈願祭齋行

正月三日、「氏子崇敬者繁栄祈願

祭」が総代・氏子崇敬者二十一名の参列のもと厳かに齋行され(新型コロナウイルス感染症の関係で参列は例年より少なかった)、今年一年の参列者各位はもとより、氏子崇敬者更



ご神前での津軽三味線演奏

に各事業所の安寧と繁栄を祈願した。 本年の神前奉納は、両親の影響で幼少の頃より邦楽に親しみ、平成三年頃より津軽三味線奏者・竹田傑師に師事し、国内はもとよりオランダ・ベルギーなどの海外公演も続けられ、平成二十一年のちやつきり節、また山中節などの全国コンクールでの優勝、さらに平成二十五年の津軽三味線全国大会A級女性部門の準優勝に輝き、後、NHKの民謡番組に出演するなど現在も多方面で旺盛に活躍されている日本民謡梅若会・梅若晶子先生による「津軽あいや節」、「津軽よされ節・津軽じょんから節」二曲の演奏である。

「津軽あいや節」は三大民謡の一つであり、「津軽よされ節・津軽じょ



鳥居前での記念写真

んから節」は、貧困や凶作の世は去れを奏したもので、新型コロナウイルス感染症の世は去れにつながり、時局の曲である。

コロナ感染防止のため、フェイスマスクをつけられてはいるが、先生のバチを叩きつけるように弾き、テンポも速い演奏に、参列者も聞き入りご満悦の様子であった。

式典後、参列者一同破魔矢を持ち、鳥居前にて記念写真を撮ったが、時節柄各位に弁当等を渡し直会にかえた。

令和三年二月
絵画奉納



奉告祭後の記念写真

九日、日本画柏樹会所属で雅号は柏華、公募展に入選入賞を重ね現在は芦屋市の市民センターで絵画教室の指導を行っている井上桂子先生の日本画が奉納された。

作品は展覧会等に出品された労作「月下美人」で、五〇号の大作である。月下美人は夜、しかも一晩だけしか花を咲かせない特徴の花であることから、蕾のころ、開花する夜、しおれていく様など、幾日もかけて写生したそうである。

井上先生と神社との関りは、平成二十九年四月に日本画二点（桜、「牡丹」、共に五〇号）を奉納して

いただき、その年の機関紙「三石さん」十九号に掲載させていただいている。そのような訳で、今回二度目の奉納となった。

当日は絵画をご神前に供え、井上先生の今後の画道の精進とご活躍、併せ家運隆昌祈願祝詞を奏上した後、先生の玉串奉奠参拝を執り行った。

尚、作品は当神社会館に掲示している。

令和三年五月

例大祭斎行

政府は兵庫県の「緊急事態宣言」を五月三十一日まで延長することとした。

このような新型コロナウイルス感染症状況のなか、二十一日～二十三日斎行の例大祭のうち、土・日曜日の子供みこし巡幸、神幸式は中止としたが、例祭は通常通り二十一日（金曜日）午後六時に、助勤神主一名の奉仕により、総代始め氏子崇敬者十三名の参列のもと（新型コロナウイルス感染症関係により例年より参列少なし）、「新型コロナウイルス感染を始め諸々の病い気も無く」と祝詞奏上した後、巫女による神楽はコ

ナウイルスを断ち切るという祈願も込め、巫女が刀を持って舞う「剣の舞」を奉納し厳肅に斎行した。



巫女による「剣の舞」奉納

祭典後の直会は、時節柄、参列者各位に弁当などを渡し直会にかえた。

令和三年六月

手水鉢と
水除・井戸梓説明高札設置



手水鉢奥に設置した説明高札

当社の手水鉢と水除・井戸梓は江戸時代中期のものである。そこで広

く参拝者に知っていたため、左記の説明高札を設置した。

「手水鉢（自然石）の右側面にくぼみがあることから、元々は石を立てて用いた家庭用の手水鉢であったと思われる。その石を横向きに加工して造られている手水鉢（横幅約1m・奥行約60cm・高さ約43cm）の前面には、江戸時代中期にあたる「辛 元禄四年 三石社 未 六月吉日」と刻され、西暦一六九一年に設置されたものである。

享保八（一七二三）年に、今和田新田（和田岬）が開墾されたが、それより八十八年古い手水鉢で、開墾前の和田岬の地に三石神社が鎮座していたことを物語り、神戸市内でも令和三（二〇二一）年で、三三〇年前の歴史ある手水鉢の一つである。

水除け（御影石）には、「安永八（一七七九）年亥九月吉日」と刻まれ、井戸枿（御影石）正面には十三名の商店を営んでいた和田崎町世話人の屋号と名が刻まれており、その屋号の一つである「和布屋」は、地の柔らかい布を取り扱う業を営んでいた人の屋号である。また右横には、四名の今出在家町世話人の屋号と名

が見られ、「今和田新田 村中」も刻されており、安永八（一七七九）年以前には既に「今和田新田村」が存在していたことがわかる。古くは井戸水を手水に用いていたが、昭和三十（一九三五）年代に井戸を埋めて井戸枿を残したものである」

令和三年七月

夏越祭（夏祭り）齋行



夏越祭（夏祭り）齋行

十七・十八日の両日、相殿に祀る素盞鳴命の夏越祭（茅の輪くぐり神事）を齋行した。

新型コロナウイルス感染終息に至らない時期ではあったが、ワクチン接種者も進み市内の感染者の減少と、夏越祭は疫病退散・無病

息災祈願の祭であるので、一人でも多くの氏子崇敬者の方々が新型コロナウイルスの感染も無く、無病息災で過ごしていただきたく従来通り齋行した（但し、例年の神前奉納、琉球舞踊は中止した）。

十七日午後六時からの殿内祭典には、総代・氏子崇敬者九名参列のもと（新型コロナウイルス感染関係により例年より参列少なし）、宮司が大祓詞・祝詞奏上の後、参列者代表各位が玉串奉奠した。

更に、境内に設けた「大茅の輪くぐり」神事では、宮司・禰宜に続き参列者一同が『拾遺和歌集』に収められている古歌「水無月のなごしの祓する人は千歳の命のぶといふなり」をはじめ、「思ふこと皆つきねとて麻の葉をきりにきりても祓ひつるかな」・「蘇民将来、蘇民将来」と唱えつつ左・右・左と三度くぐり、人が知らず知らずのうちに犯した罪や過ち、心身の穢れを祓い清め、また新型コロナウイルスの無感染、夏の無病息災を祈願した後、参列者へ神職手作りで無病息災のご利益ある「蘇民将来茅の輪守」と弁当をお渡しさせていただき直会にかえた。

柔道阿部兄妹選手
五輪金メダル獲得



二十五日、当社に五輪優勝祈願参拝している柔道阿部一二三、詩兄妹選手が見事五輪金メダルを獲得した。早速盗難犯上のため阿部兄妹選手祈願絵馬は事務所に移し、拝観求めに応じられるよう額に入れて飾った。メダル獲得直後から、当社を参拝していることがTV放送され、また二十六日の各スポーツ新聞などにも記事が掲載されたためか、朝から阿部兄妹選手の活躍にあやかるう、祈願絵馬を拝観しよう、参拝者が相次いで訪れ、阿部兄妹も身に付けて

いる「勝御守」を始め神札・御守・絵馬などを求める人も多く正月並みのにぎわいをみせた。

三十日、「祝 東京五輪柔道 男子六六キロ級 阿部一二三選手 女子五二キロ級 詩選手 金メダル おめでとうございませす」の横断幕各一枚を鳥居横左右の玉垣に掲示し、当社の祝福とした。

柔道阿部兄妹選手の今後のご健勝とご活躍をお祈りいたしますと共に、三年後のパリ五輪でも阿部兄妹選手が柔道で金メダルを獲得することを願ってやまない。

当社で命名に関係されたお子様のお健やかなご成長をご祈念申し上げます。(命名書のみのお受付も行っております。)

新生児命名
令和二年十一月から
令和三年十月末日まで



境内の奉賛芳名掲示板

社殿屋根葺き替え事業・銅板

御寄進者ご芳名

(含 申込・分納・追加、
令和二年十一月から

令和三年十月末日まで)

順不同・敬称略

銅板奉納者全ての方々のご芳名は、神社台帳に記録の上永く保存させていただきまますが、境内掲示板のご芳名掲示は三枚以上とさせていただきます。

趣意とお願い

現社殿は昭和三十八年に竣工して、約五十年となります。

銅板の寿命は約五、六十年といわれています。そこで将来銅板屋根の葺き替えを行なわなければなりません。

そのような事情により、皆様様に銅板寄進(一枚三千円)をお願いいたしております。

社殿銅板屋根にあなた様のお名前を残し、更なる三石大神のご加護により、貴社・貴家の益々の弥栄をご祈念申し上げます。ご案内申し上げます。

既にご奉納いただきました方々には重ねてのご案内となりましたことをご了承下さい。

尚、はじめ銅板一枚二千円といたしておりましたが、銅の値上がりもあり、三千円(一、五枚と計上)とさせていただきます。宜しくご理解ご了承をお願い申し上げます。

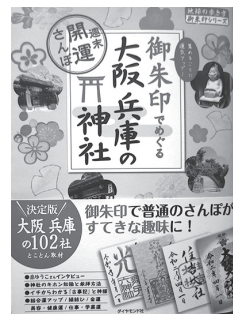
シリーズ

書籍に見る三石さん

『御朱印でめぐる大阪兵庫の神社』

〜週末開運さんぽ〜

本書は(株)ダイヤモンド・ビッグ社から「地球の歩き方・御朱印シリーズ」²³として二〇二〇年九月に発行(定価一三〇〇円)されている。



その「縁結び」の項に「強い女性神に恋の成就を祈願 兵庫 三石神社」とタイトルされ、社殿・御朱印写真も載せられ、「戦いからの帰途、和田岬で神功皇后の船が進まなくなりました。三ツ石を立てて占うと、廣田(西宮市)、生田(神戸市)、長田(神戸市)、住吉(大阪)に神々をお祀りするようお告げがありました。この神社はその儀式の地です。神々とその土地の縁をつないだ祭神にすてきな縁を願いまししょう」と由緒も略記され、また「勝御守」写真には「妊娠中に海を渡つての戦いで勝利を手にした祭神の霊験あらたかな『勝御守』(八〇〇円)。世界で活躍する地元出身の柔道家も毎年参拝に訪れます。恋愛の勝利もかなえ

られそう！」と記し、さらに「祭神の像や『三ツ石の遺跡』、近隣の造船所にちなんだスクリーンがあるなど、小さな境内ながら見どころいっぱいです！」とも記されている。



お知らせ

**新年氏子崇敬者
繁栄祈願祭ご案内**

- 一、日時 令和四年一月三日
午前十一時斎行
- 一、会費 金 五、〇〇〇円
(記念写真・会食費代として当日ご持参下さい)
- 一、神前奉納 尺八

新都山流 師範 竹尾青山 先生



※参拝終了後、記念写真・直会(会食)を執り行いますので、ご参列ご希望の方は、十二月二十五日までにご参列のご回答をお願い申し上げます。

※ご参列・直会ご出席の方は、飲酒運転防止の為お車でのご参加をご遠慮下さい。

令和四年の神社神事・行事予定

- 一月 一日 歳旦祭(初詣)
- 一月 三日 氏子崇敬者繁栄祈願祭
神前奉納 尺八
- 五月 二十日 例大祭
- 五月 二十一日 地区子供みこし巡幸
- 五月 二十二日 神幸式(おわたり)
- 六月 十二日 氏子崇敬者親睦旅行
- 七月 十七日 夏越祭
(琉球舞踊奉納・茅の輪くぐり)

十八日 (茅の輪くぐり)

- 九月二十三日 西宮神社産宮参り
- 十月 十六日 秋祭(天照皇大神祭)
- 各月一日 月次祭
- 十一月 中 七五三詣

三石神社諸祈祷ご案内

【殿内個人祈祷】

(殿内における各種祈祷)
家内安全、病氣平癒、安産、初宮詣、七五三詣、学業成就、厄除、交通安全、その他

【会社・事業所安全繁栄祈祷】

(会社・事業所団体祈祷は事前ご予約願います)

【出張祭典】

(諸準備の為、事前ご予約願います)

起工・地鎮祭、上棟式、竣工式、入居清祓式、神棚祭、各種安全祈願祭、その他(含 神葬祭)

【服忌について】

家庭にご不幸があった場合、一般的には五十日間を忌中として故人を偲び、神棚に半紙を貼るなどしておまつりを遠慮します。

忌が明ければ神棚もおまつりし、通常の生活に戻ります。忌の期間が正月をまたぐ場合は、忌が明けてから神社の参拝、また、お神札を受けでも差し支えありません。
なお、親戚の方が亡くなられた場合は、お葬式を出したお家でなければ、葬儀告別式後通常のおまつりをして問題ありません。詳略は当社にお尋ね下さい。

令和四年 年頭授与絵画



美鳳画

印刷所
(有)前川企画印刷
神戸市兵庫区永沢町三丁目三十一番地
TEL (0778) 5777-2488
FAX (0778) 5777-7330